

アリス・ベイリー著
『テレパシーとエーテル体』

読書会 & シェア会

生命システム研究所

あんどうさわこ・根本泰行

お願い: ZOOMでの表示名を参加申し込みをした時のお名前にしてください。

大祈願

神の御心の光の源より

光をあまねく人の心に流れ入れさせ給え
光を地上に降くだらせ給え

神の御心の愛の源より

愛をあまねく人の心に流れ入れさせ給え
キリスト（如来）よ、地上に戻られ給え

神の意志、明らかなる中心より

大目的が人の貧とほしき意志を導かんことを
如来は大目的を知り、これに仕え給う

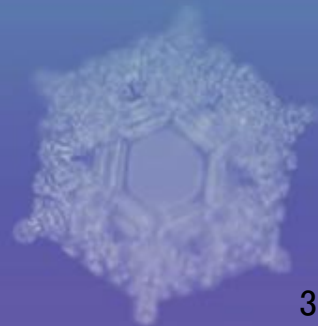
我らが人類と呼ぶ中心より

愛と光の大計画を成させ給え

悪の棲すみか処の扉を封じ給え

光と愛と力とをもて地上に大計画を復興させ給え

読書会



今日のスケジュール

読書会(21時5分位から1時間)

●担当:根本泰行

シェア会(読書会の後)

●担当:あんどうさわこ



アリス・ベイリー (Alice Ann Bailey, 1880年6月16日 - **1949年12月15日**)

神秘主義関係の作家で、神智学協会から派生した「アーケイン・スクール（不朽の知恵、秘教占星学）」の創立者。

米国では神智学協会に参加、ここでブラヴァツキーの著書に接し、協会員となった。1920年、アメリカ神智学協会で働く神智学者フォスター・ベイリーと再婚。その前年、大師（マハトマ）の**ジュワル・クール**（英語版）からのメッセージを受け取るようになったという。

1922年、夫妻はルシファー出版社（後年、**ルシス・トラスト**（英語版）に改名）を設立。1923年、彼女は「アーケイン・スクール」（Arcane School）という団体を創設し、大師から受けたという教えを広めた。

『テレパシーとエーテル体』 Telepathy and the Etheric Vehicle. (**1950**)



ジュワル・クール大師 (Djwal Khul) 翻訳書3~4頁

私は他の人々と同じような肉体をまとってチベットの辺境に住んでいる。そして、私の責務が許すときには、（現世的な意味で）時にはチベットのラマ僧の大きな一団を統括している。私がこのラマ寺院の院長であると伝えられているのはこの事実によるものである。

私は一般の学ぶ人々よりも少しだけ長く道を歩み、そのためより大きな責任を背負う、**あなた方の兄弟**である。

私が書いた本は、受け入れるよう要求することなく世に出される。それらは正しく真実で有益なものかもしれないし、そうではないかもしれない。それらが真実であるかどうかを適切な実践と直感の修練によって確信するのはあなた方の役目である。

語られていることが結果として確証に結びつくならば、もしくは、類似（対応）の法則のもとで照らし合せて正しいと思われるならば、それは申し分のないことである。しかし、そうでないならば、言われたことを受け入れてはならない。

テレパシーとエーテル体

Telepathy and
the Etheric Vehicle

アリス・ベイリー 著
AABライブラリー 翻訳・発行

第二部 エーテル体に関する教え

1	エーテル体の性質……………	162
2	非分離の基礎……………	172
3	惑星と人間のセンター……………	184
4	センターとパーソナリティー……………	192
5	空間の性質……………	203
6	惑星生命——太陽系の一つのセンター……………	209

アリス・ベイリー原著

https://www.lucistrust.org/online_books/telepathy_and_the_etheric_vehicle_obooks

Telepathy And The Etheric Vehicle

Sub-sections:

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 1](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 2](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 3](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 4](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 5](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 1](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 2](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 3](#)

SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 1

TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE

I. THE NATURE OF THE ETHERIC BODY

See Chart Evolution of a Solar Logos

Much that I may say here may be familiar to a certain extent, because there is a vast amount of information anent the etheric body scattered throughout my various books. It will have its value however if students can receive in a few pages a general idea and the basic concepts which underlie the teaching—or should I say, the fact? If they have the time, students would find it of profit to re-read what I said; run their eyes rapidly through the books and papers in search of the word "etheric." They will never regret it. Life itself, the training to be given in the future, the conclusions of science and a new mode of civilisation will all increasingly be focussed on this unique substance which is the true form to which all physical bodies in every kingdom in nature conform. Note that phraseology.

アリス・ベイリーの全著作一括検索方法

(但し英語原著のみ)

以下のキーワードを使ってググる！

“**検索語**” [site:www.lucistrust.org/online_books/](http://www.lucistrust.org/online_books/)

例：**三界**を調べる場合

“**three worlds**” [site:www.lucistrust.org/online_books/](http://www.lucistrust.org/online_books/)

2023年6月18日(日)

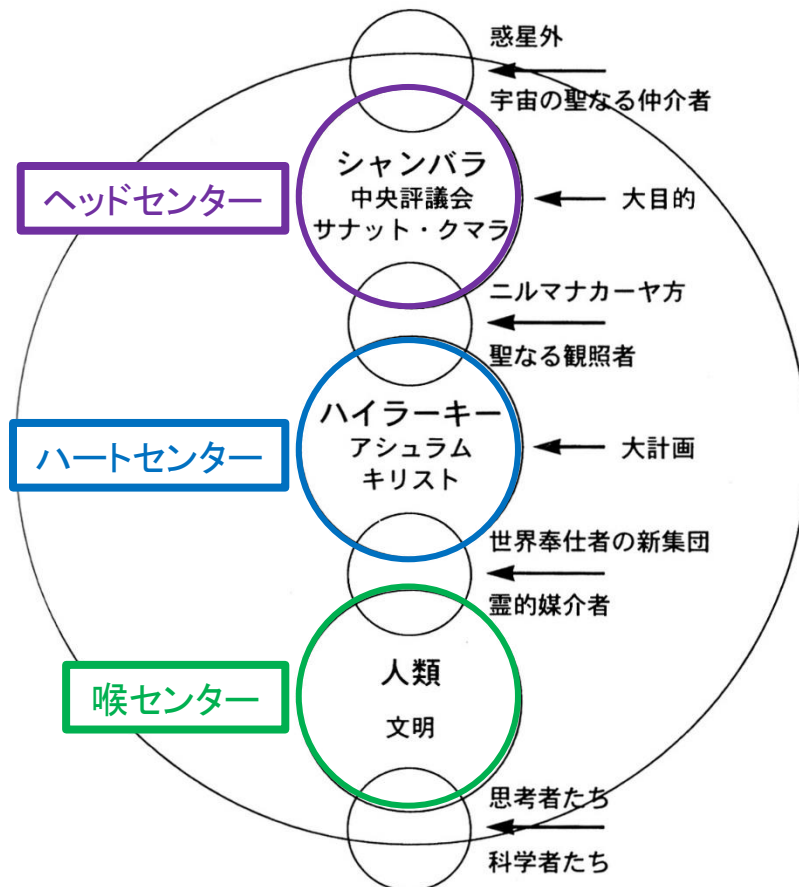
『テレパシーとエーテル体』

3 惑星と人間のセンター

184頁、1行目から始めます！

『テレパシーとエーテル体』 p.184:2行目

- エーテル体に影響を与える一つの要因
(伝えても全く役に立たない情報であり、これまでほとんど言及されなかった)

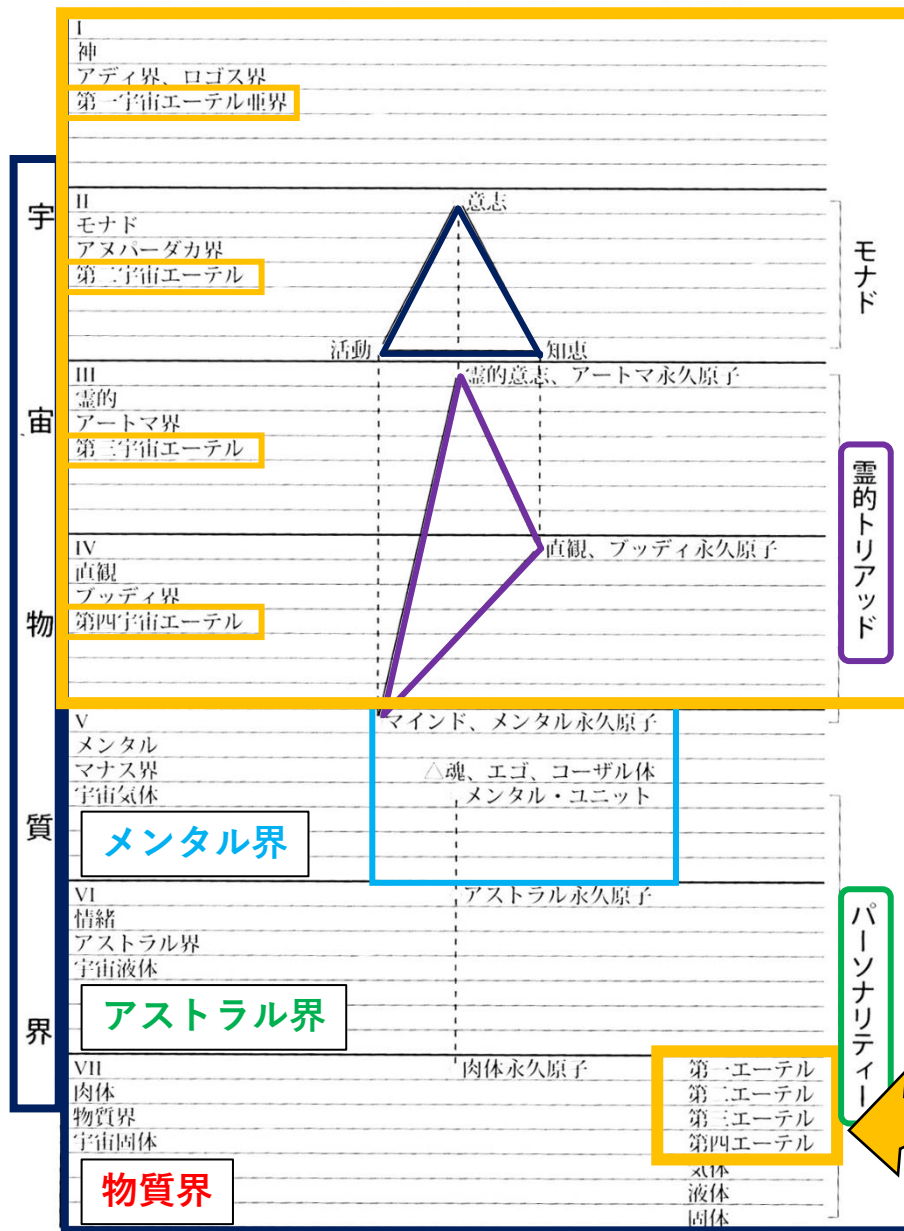


『新時代の弟子道シリーズ2』 p304より

惑星と人間の3つのセンターはエーテル質料で存在する。

1. **惑星ロゴス**は**三つの主要センター**を介して働く。
2. **人間(弟子)**は**個人の三つの主要センター**を通して**三つの惑星センター**と関係している。
 - a. **神の意志のセンター: シャンバラ**
 - 弟子の**ヘッドセンター**
 - b. **神の愛のセンター: ハイラーキー**
 - 弟子の**ハートセンター**
 - c. **神の知性のセンター: 人類**
 - 弟子の**喉センター**

私たちの太陽系の七つの界層



人間の構造

『テレパシーとエーテル体』

p.184: 後ろから2行目

- **大師方**は、**宇宙エーテルレベル**(ブッディ、アートマ、モナド、ロゴスのレベル)の質料からなる**エーテル体**を持っている。
- **決断**の**第6イニシエーション**において**7つの究極なる運命の道**のいずれかを選択するときまで、**大師方**は**宇宙エーテル体**で機能する。
- **【参考】7つの道『イニシエーション』** p.250より
 - (1) 地球での奉仕の道
 - (2) 磁気に関する仕事の道
 - (3) 惑星ロゴスになるための訓練の道
 - (4) シリウスへの道
 - (5) 光線の道
 - (6) ログス自身が辿っている道
 - (7) 絶対なる子の道

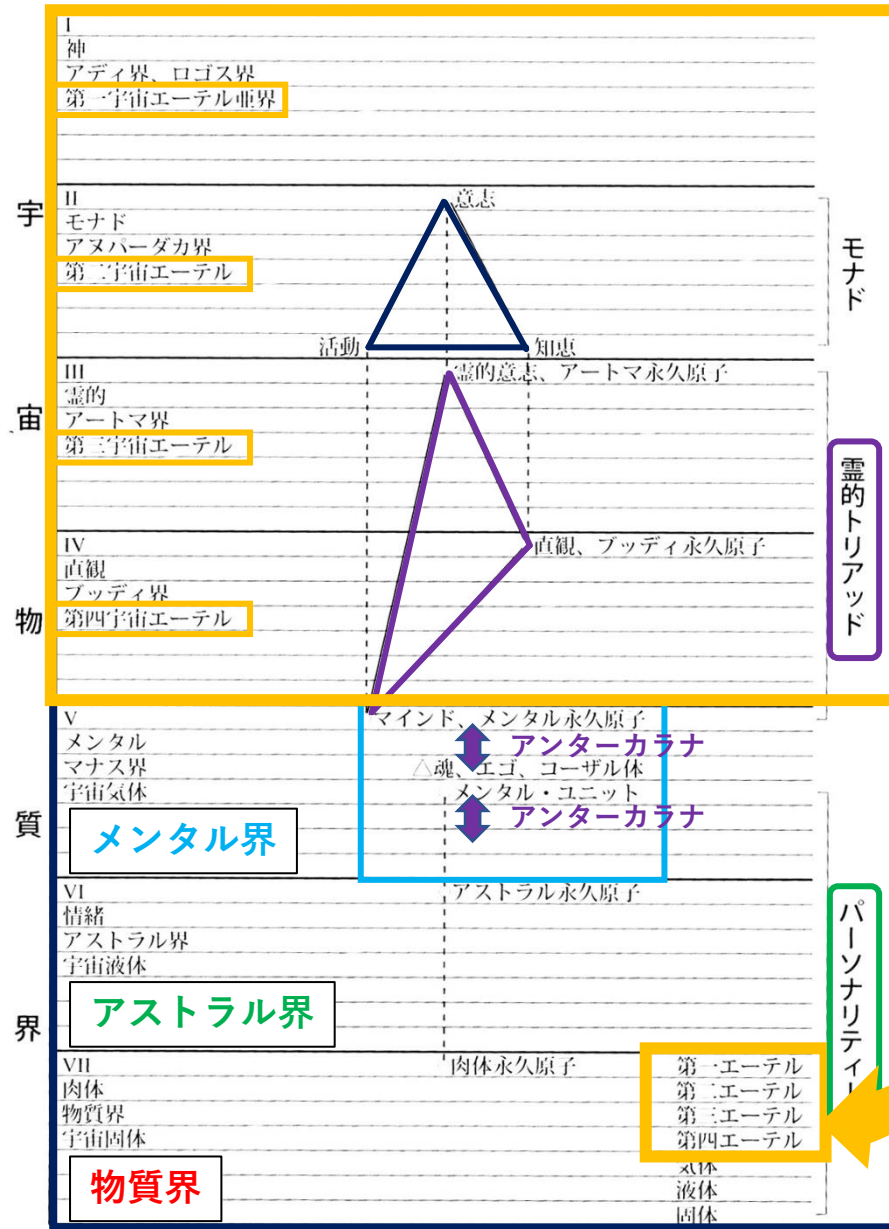
私たちの太陽系の七つの界層

【前回の復習】

『テレパシーとエーテル体』

181頁:2行目~3行目

- 時として**四つのエーテル**と呼ばれるものはそれぞれ**一人間**に関する限り**四つの宇宙エーテルの経路**もしくは**表現**になるように意図されている。
- 現在これらは、意図されていることとは程遠い状態である。
- アンターカラナが構築され、私たちが普遍的な生命、モナドの強さ、神の目的、純粹理性と呼んでいる**宇宙エーテル**のための**直接の経路**としての役割を果たしたとき初めて、そのようになることができる。



フラクタル構造

人間の構造

『テレパシーとエーテル体』 p.185:10行目

惑星ハイラーキー

S サナット・クマラ、世界の主
(日の老いたる者、一なるイニシエーター)

三人のクマラ方
(活動の仏陀方)
1 2 3

シャンバラ

三つの主要光線と四つの従属光線の反映

三つの部門の長

I 意志の様相

A マヌ

b ジュピター大師

c モリア大師

II 愛と知恵の様相

B ボーディサットヴァ
(キリスト、世界教師)

b ヨーロッパ人の大師

c クートフーミ大師

d ジュワル・クール大師

III 知性の様相

C マハチョハン
(文明の主)

c ベニス人の大師

4 セラピス大師

5 ヒラリオン大師

6 イエス大師

7 ラコツツイ大師

ハイラーキー

四つの段階のイニシエートたち

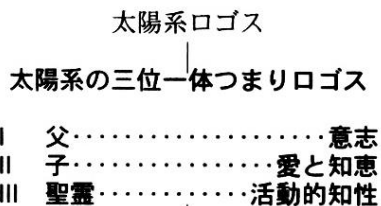
様々な段階の弟子たち

見習いの道にある人々

人類

あらゆるレベルの平均的な人類

太陽系ハイラーキー



七つの光線

様相の三つの光線
 属性の四つの光線



惑星ハイラーキー

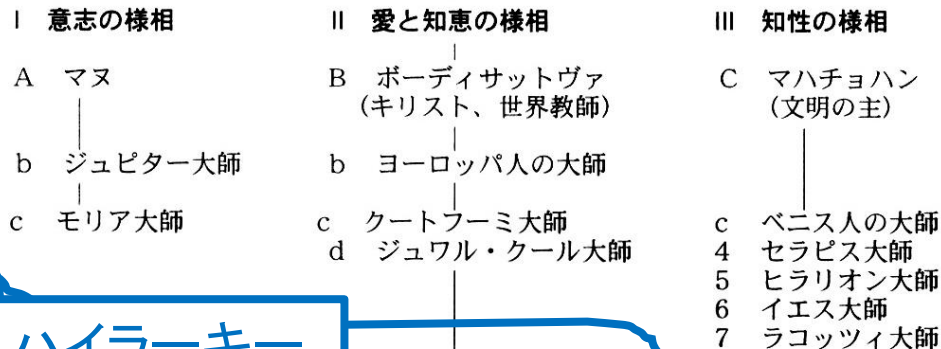
S. サナット・クマラ、世界の主
 (日の老いたる者、一なるイニシエーター)

三人のクマラ方
 (活動の仏陀方)
 1 2 3

シャンバラ

三つの主要光線と四つの従属光線の反映

三つの部門の長



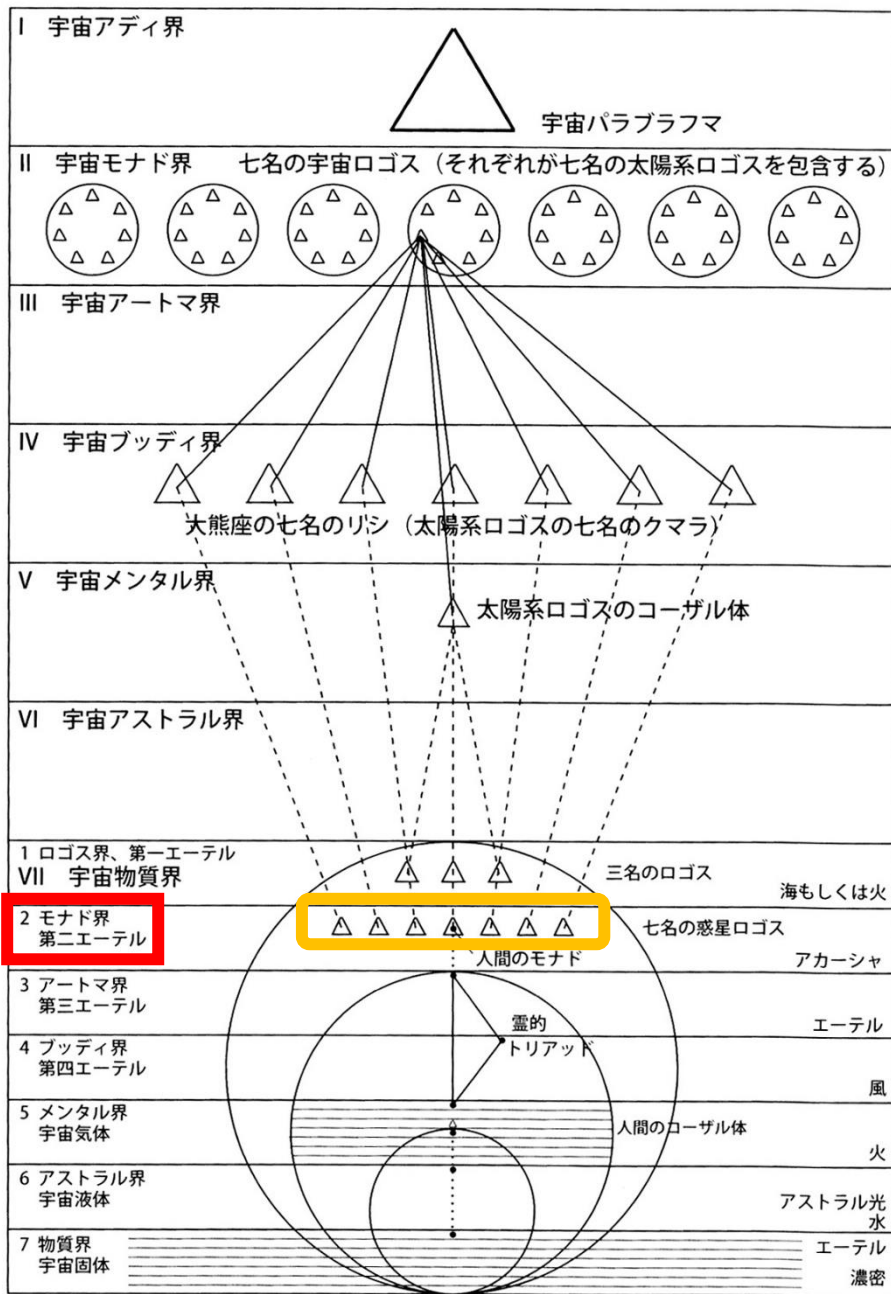
ハイラーキー

『テレパシーとエーテル体』

p.185: 後ろから1行目からp.186: 6行目

- 属性の光線(第4、第5、第6、第7光線)のいずれかで転生する魂はすべて、最終的には3つの主要な様相の光線の1つへと進む(ブッディ質料を十分な割合だけエーテル体に取り入れたとき)。
- 3つの光線が2つの光線になり、その後、私たちの現在の太陽系の光線である愛と知恵の第2光線への吸収が起こる(宇宙エーテル質料でイニシエートのエーテル体が作られるようになる時代のおわり頃)。

太陽系ロゴスの進化



『テレパシーとエーテル体』

p.186: 後ろから6行目

- **光線**とは「**神の玉座の前の7つの霊**」から発せられる**7つの放射**である。
- 【参考】『**宇宙の火(1)**』 p.151 **私たちの惑星ロゴスは「神の玉座の前の7つの霊」の1つ**である。
- それらの**放射**は、**モナドの認識レベル**つまり**第2宇宙エーテル界**から来る。
- ある意味では、この**7つの偉大かつ活発なエネルギー**が全体として**惑星ロゴスのエーテル体**であると言える。

『テレパシーとエーテル体』 p.186: 後ろから4行目以降

- 進化過程も同様に、濃密な肉体と敏感なアストラル体の間にある物質的な質料（根本注：物質界に存在する第1から第4までのエーテル）を排除して、4つの最高位の界層つまり4つの宇宙エーテル界の質料（根本注：ロゴス界、モナド界、アートマ界、ブッディ界に存在する第1から第4までの宇宙エーテル）と置き換える過程であるとすることができる。
- 物質的な言い方をすれば、人間が知恵の大師になるための5つのイニシエーションを次々と受けることを可能にするのは、このエーテル質料の置き換えである。
- 【参考】5つのイニシエーション（『秘教から科学へ』神尾学・著より）
 - (1) 「誕生」…肉体の統御が達成された時に受けられる。
 - (2) 「洗礼」…アストラル体が統御され、感情が浄化された時、受けられる。
 - (3) 「変容」…メンタル体が統御された時に、受けられる。
 - (4) 「磔刑」（「放棄」）…それまで魂の器であったコーザル体が犠牲に供されて、消滅する。
 - (5) 「復活」（正しくは「啓示」：『光線とイニシエーション（下）』p.282）…ブッディ体が統御されるとともに、物質から完全に解放されて大師となる。

<参考> (6) 「決断」 (7) 「復活」 (8) 「移行」 (9) 「拒絶」（『光線と～（上）』p.422）

『テレパシーとエーテル体』 p.187:2行目以降

● 2つの衝突

- パーソナリティーが魂と戦う。
- 弟子のエーテル体を構成するエーテルと、流入してくる高位のエーテルの間で、もう一つの戦いが起こる。
 - ✓ 人はそれほど意識していないが、非常に現実的なもの。
 - ✓ 主に肉体の健康に影響を与える。
 - ✓ 私たちがイニシエーションと呼ぶ5つの自然な段階に分けられる。

● イニシエーションの杖 (the Rod of Initiation)

- イニシエーション過程の間、必要に応じて、キリストもしくは世界の主(サナット・クマラ)によって杖が揮(ふる)われる。
- それは、「上にある如く下もまた然(しか)りなり」にするために、イニシエートが上からのものを保持できるようにするエネルギーを適用することによってパーソナリティー内に高位のエーテルを安定させるためである。
- [【参考】『イニシエーション』 p.178「第13章 イニシエーションの杖」](#)

『テレパシーとエーテル体』 p.187: 後ろから2行目以降

● エーテル体に関する3つの観点

1. ナディーを通して外的に顕現するメカニズム、つまり肉体の神経系を通して外的に顕現される互いに関係し合うフォースの線でできた繊細なシステムとして

⇒ ナディーと神経系、フォースの線でできたシステム

2. 多くの異なる源から流入してくる多くの異なるタイプのエネルギーを伝導するものとして

⇒ さまざまなタイプのエネルギーを伝達するシステム

3. エネルギーは—それらの源、特質、目的に応じて—7つの主要センターを作り出す。これらが多くの小さな二次的センターを条件づけ、最終的に内分泌系の7つの主要な腺を通して外的に顕現する

⇒ 7つのチャクラ、二次的なチャクラ、7つの内分泌系(副腎、性腺、膵臓、胸腺、甲状腺、脳下垂体、松果体)

『テレパシーとエーテル体』 p.188:10行目以降

● 正方形から三角形へ

- 現在のところ、この惑星のエーテル体内で交差するエネルギーは、複数の正方形からなるネットワーク(a network of squares)である。
- 創造の過程が完了し、進化がその仕事を成し終えたとき、これらの正方形は三角形からなるネットワーク(a network of triangles)になるであろう。
- エネルギーは、エーテル体の三角形の構成を通して流れるほうが、一現在のように一正方形や正方形からなるネットワークを通して、もしくはその周囲を流れるよりもずっと容易になる。

● 【参考】『秘教占星学(下)』 p.96-p.97 より

- 惑星のエーテル体と呼ばれている内的な光の網は本質的に三角形の網であり、進化過程が完成したとき、それは組織化されているであろう。
- 現在は正方形の模様が主要な網の構造であるが、これは神の計画が成就するにしたがって、ゆっくりと変化しつつある。
- 聖惑星のエーテルの網は大体において三角形であるが、太陽のエーテルの網は絡み合った円である。
- 現在の地球の努力は、惑星の網の変質を引き起こすことで、現存する四角形を三角形へとゆっくりと変化させることである。

『テレパシーとエーテル体』 p.188: 後ろから5行目以降

- 『黙示録』(アリス・ベイリーの原文ではBook of Revelations; 一般的にはBook of Revelation)
 - 【翻訳】現在ではヒラリオン大師として知られている弟子によって1900年前に口述された「黙示録」の中で、「正方形の都市」について述べられている。
 - 『ヨハネの黙示録』 21:10-16 (『リビングバイブル』日本語版より)

10 幻の中で、天使は私を高い山の頂上に連れて行きました。そこで私は、**すばらしい都、きよいエルサレム**が神のもとを出て、天から下って来るのを見ました。11 **都**は神の栄光に包まれ、宝石のように光り輝き、碧玉のように[水晶のように]透き通っていました。12 **都**には、分厚い城壁が高くそびえ、十二人の天使が守る十二の門があり、それぞれに、イスラエルの十二部族の名が記されていました。13 また、門は東西南北の方角に、三つずつ設けられていました。14 城壁には十二の土台石があつて、それぞれに、小羊の十二使徒の名が書き込まれていました。

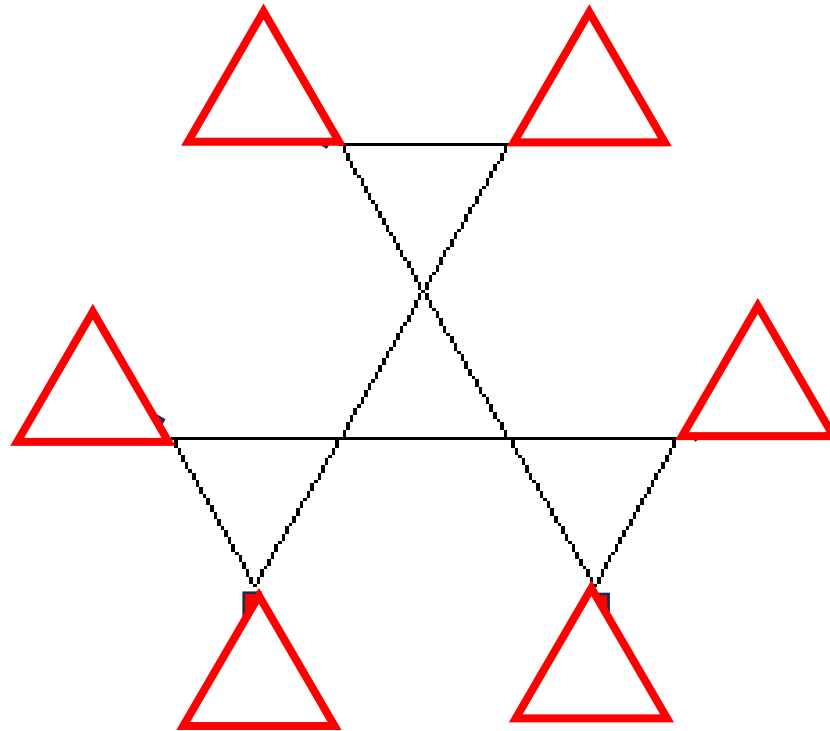
15 天使は、都と門と城壁とを測るために、金の物差しを手にしていました。16 **実際に測ってみると、都は縦横長さの等しい正方形であることがわかりました。さらに高さも同じで、立方体をなしているのです。**それぞれの長さは二千二百キロでした。
 - 【根本コメント】しかしながら、『黙示録』の著者**聖ヨハネ**は**クート・フーミ大師**の過去生であり、**ヒラリオン大師**の過去生は**聖パウロ**であると言われている。

↑アリス・ベイリーの勘違い??

『テレパシーとエーテル体』 p.189:8行目

● 三角形のネットワーク

- 三角形による構成とネットワークの**二重の成長**、つまり**発展**と**拡大**の仕方を描いたものである。
- というのは、最初の三角形から始まり、**二つの点だけ**が**拡大過程のためには残されているから**である。



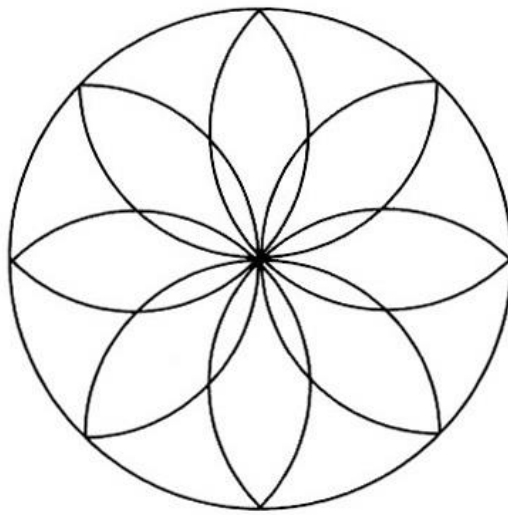
『テレパシーとエーテル体』 p.190:うしろから5行目以降

● 人間のセンター

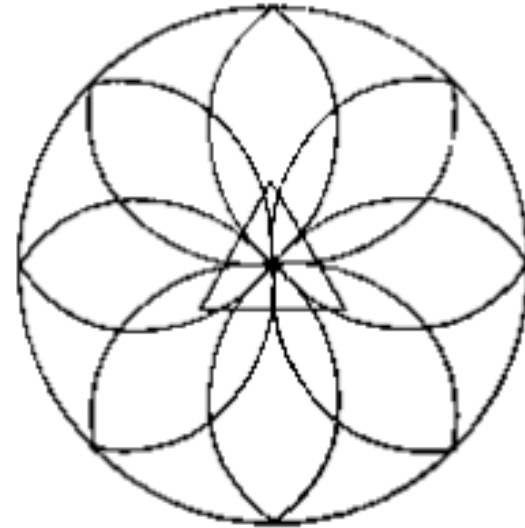
- センターとは実際には、エネルギーの「交差点」であり、エーテル体には7つの三角形つまり変形された点がある。
- シャンバラから見れば、7つのセンターは中心に点がある三角形に似ている。
- ハイラーキーから見ると、7つのセンターは様々な数の花卉を持つ蓮華として描写される。蓮華のまさにハートには、1つの三角形が常にあり、それが存在するのを認めることができる。その三角形には伝達点が常に存在し、「蓮華の中の宝珠」と呼ばれている。

『テレパシーとエーテル体』 p.191: 図

人間のセンター＝蓮華



おそらく間違い
日本語翻訳 p.191



おそらく正しい
英語原著(ウェブサイト)

『テレパシーとエーテル体』 p.190:うしろから5行目以降

● 人間のセンター

- センターとは実際には、エネルギーの「交差点」であり、エーテル体には7つの三角形つまり変形された点がある。
- シャンバラから見れば、7つのセンターは中心に点がある三角形に似ている。
- ハイラーキーから見ると、7つのセンターは様々な数の花卉を持つ蓮華として描写される。蓮華のまさにハートには、1つの三角形が常にあり、それが存在するのを認めることができる。その三角形には伝達点が常に存在し、「蓮華の中の宝珠」と呼ばれている。
 1. 中心にある点はモナドの生命を示しているが、最初は肉体の生命と活力という最低位のものとして表現され、最終的には「感受性の点」として表現される。
 2. 魂の蓮華にある関連するエネルギーは魂によって条件づけられている。
 3. 放射領域、つまり蓮華が放射する影響力である円は、パーソナリティーを条件づけている。
 4. エネルギーの三角形は、霊的トリアッドによって条件づけられているが、その三角形はまず最初に魂を鼓舞し燃え立たせ、最終的にはそれを破壊する。

お知らせ

生命システム研究所

<https://life-system-labo.com/>

- <アップデート版>何があっても大丈夫ー
『宇宙の創造原理』と『意識の二階層論』の統合
詳細：<https://life-system-labo.com/2023/04/28/ok2/>
お申し込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S116442518/>
日時：**6月23日(金)**19:00～22:00[ZOOM]
6月25日(日)13:30～16:30[アクエリアス & ZOOM]
➤ 6月23日と6月25日の内容は同じです。
参加費：6,000円(前回参加者は半額)

満月ツインハート瞑想会

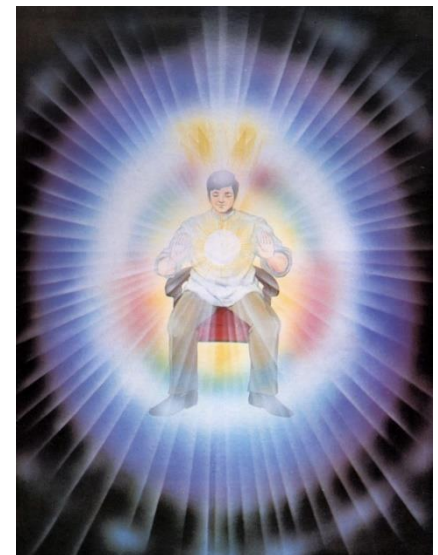
毎月満月の日の21時～22時に、ZOOM上で無料で開催します。
初心者大歓迎！ 聖なる愛と光を地球全体に送るための瞑想法です。

- 2023年7月3日(月)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年8月2日(水)21時～22時、担当:根本泰行
- 2023年8月31日(木)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年9月29日(金)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年10月29日(日)21時～22時、担当:根本泰行
- 2023年11月27日(月)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年12月27日(水)21時～22時、担当:根本泰行

必ずウェブサイトから申し込んでください。

<https://life-system-labo.com/2022-3twinheart/>

2023年1月22日より、毎月新月の日の21時からアリス・ベイリー著『テレパシーとエーテル体』の読書会とシェア会を開催しています。ウェブサイトから申し込んでください。



シェア会

